

Ver.3.1



e blog cms

管理者マニュアル

2025.01.10

eapple

Web System & Design

a-blog cms 管理者マニュアル

<u>1.はじめに</u>	4
このマニュアルの内容について	4
<u>2.基本編</u>	5
❖ 管理ページと各管理機能へのアクセス	5
a-blog cmsの管理ページとは？	5
ダッシュボードとは？	5
各種機能へのアクセス	6
a-blog cmsのブログ構造と管理ページ	6
❖ ダッシュボードで管理できる内容	6
よく使う機能へのショートカット	6
キャッシュファイルの管理	7
キャッシュファイルの有効期限	8
メンテナスマード	9
❖ エントリーの管理	12
エントリー管理で出来ること	12
エントリー一覧画面	12
個別エントリーに対する編集・複製・削除処理	13
セレクトメニューからの複数エントリーの一括処理	13
エントリー表示順の変更	14
エントリーのまとめて操作	14
❖ ゴミ箱について	18
エントリーの削除の実態	18
完全削除	18
復元	18
❖ カテゴリーの管理	19
一覧からのカテゴリー管理	19
カテゴリー一覧画面での管理	19
個別のカテゴリーに対しての編集と削除	19
複数のカテゴリーを一括して処理	20
カテゴリー管理についての注意点	20
❖ タグの管理	21
タグ一覧画面	21
タグの管理(名称の変更・タグの削除)	21
タグの追加	21
❖ ブログの管理	22
a-blog cmsのブログ構造	22
ブログ情報の編集	23
子ブログの管理	23
ブログの管理についての注意	23

❖ ユーザーの管理	24
<u>ユーザーの作成</u>	24
<u>ユーザーの作成についての制限</u>	25
<u>ユーザーの権限について</u>	26
<u>所属ブログとユーザーの権限について</u>	26
<u>ログインパスワードを変更・再設定する</u>	26
❖ フォームの管理	27
<u>フォームIDについて</u>	27
<u>フォームIDの一覧でできること</u>	27
<u>フォームごとの設定</u>	27
<u>投稿されたデータの確認</u>	28
<u>投稿の削除</u>	28
<u>投稿されたデータのダウンロード</u>	28
❖ スケジュールの管理	29
<u>スケジュールセットとは</u>	29
<u>登録データの確認と編集</u>	29
<u>ラベルの設定</u>	30
❖ ログイン方法の設定	31
<u>メール認証サインイン(管理ログイン)を設定する</u>	31
<u>2段階認証を設定する</u>	31
<u>リカバリーコード</u>	34
<u>ログイン試行回数を制限する「アカウントロック」</u>	35
❖ バックアップと復元	35
<u>バックアップとリストア(復元)について</u>	35
<u>a-blog cmsのバックアップに必要なデータ</u>	35
<u>バックアップ・リストア時の注意事項</u>	36
<u>データベースをバックアップする</u>	36
<u>アーカイブディレクトリをバックアップする</u>	37
❖ アクセス制限	39
<u>ブログ単位のアクセス制限</u>	39
3. 応用編	40
<u>メールマガジン機能</u>	40
<u>a-blog cmsのメールマガジン機能とは</u>	40
<u>配信先について</u>	40
<u>メールマガジンのメールの設定</u>	41
<u>テンプレートの準備</u>	43
<u>配信までの流れ</u>	43
<u>テスト送信</u>	44
<u>本送信</u>	44
❖ SNSログイン機能	45
<u>SNSログインとは</u>	45
<u>SNSログインを利用可能にする</u>	45
<u>Googleアカウントでのログインの準備</u>	45
<u>LINEアカウントでのログインの準備</u>	52

<u>X アカウントでのログインの準備</u>	55
各ユーザーの認証	58
❖ カート機能	59
カート機能	59
主な機能	59
ご利用の前に	59
Ver. 1.xとの違い	59
❖ レイアウト機能	60
レイアウト機能とは	60
レイアウトの利用開始	60
レイアウト、モジュールの追加・配置・変更	62

1. はじめに

この文書は、a-blog cmsを使用してサイトを管理する方のためのマニュアルです。

説明に使用している機能や画面は、a-blog cms Ver. 3.1と、同梱されている公式テーマ(Site-Blog)を使用しています。

公式テーマ以外のカスタマイズされたテーマを利用されている場合や、カスタマイズされたa-blog cmsをご利用の場合には、説明や画面が一致しない場合があります。ご了承ください。

このマニュアルの内容について

このマニュアルでは、基本的にa-blog cmsのユーザーの権限「管理者」が操作できる内容の中でも、特にサイト運営に関わる内容について記述しています。単純なログインやエントリーの作成・編集、バージョン管理、メディア管理といった「投稿者」「編集者」と共通の内容は「登録・更新マニュアル」の方に記載されていますので必要に応じてご参照ください。

a-blog cms全体に大きな影響を与える内容については個別に注意書きを添えています。これらの操作につきましては、サイト制作者、カスタマイズ担当者にご相談ください。

2. 基本編

✿ 管理ページと各管理機能へのアクセス

a-blog cmsの管理ページとは？

a-blog cmsの管理ページは、エントリーの追加や変更とは別に、様々な管理機能をまとめた管理ページとして存在します。

ダッシュボードとは？

a-blog cms の管理ページに移動すると、最初にダッシュボードと呼ばれるページが表示されます。このページにはライセンスやバージョンの情報、ユーザーのログイン履歴や下書きとなっているエントリーなど、サイトの基本情報が掲載されています。

ダッシュボード画面 - 全体

各種機能へのアクセス

管理ページで必要になる各種機能へのアクセスは、画面左側のサブカラムに集約されています。

サイト管理者として必要になるのは、主にエントリーの管理やユーザーの管理となります。これら必要な項目については後述します。

a-blog cmsのブログ構造と管理ページ

a-blog cmsでは、ブログという単位でコンテンツを管理しています。ユーザーを含む様々な設定は基本的にはブログ単位で行われます。管理ページはブログごとに存在しますので、管理したいブログから管理ページに移動するか、管理ページ内左上のブログナビゲーションからルートブログ名をクリックして管理するブログを選択してください。



ブログナビゲーション

コンフィグセット、テーマセット、編集画面セット、フォームID、モジュールIDはグローバル化することによってブログを横断して使用することができます。

❖ ダッシュボードで管理できる内容

よく使う機能へのショートカット

a-blog cms管理ページでは、コンフィグの各種設定ページについて、トップページにショートカット(リンク)を設定できます。よく使う機能は、わかりやすい説明をつけてショートカット化しておくと使いやすくなります。



ダッシュボード - ショートカット

ショートカットが作成できるページは、画面右上に「ショートカットに追加」というボタンがあります。

The screenshot shows the 'banner_slider' (Slider image) module settings page in the a-blog cms dashboard. The left sidebar includes links like 'ダッシュボード', '投稿管理', 'エントリー', 'ゴミ箱', 'カテゴリー', 'タグ', 'メディア', 'サイト管理', 'ブログ', 'ユーザー', '会員', 'フォーム', 'コメント', and 'スケジュール'. The main content area shows the 'banner_slider' configuration with tabs for '表示設定' (Display Settings), '条件設定' (Condition Settings), 'カスタム設定' (Custom Settings), and '編集画面設定' (Edit Page Settings). The '表示順' (Display Order) dropdown is set to '表示順(昇順)'. The 'ショートカットに追加' (Add to Shortcut) button is located at the top right of the '表示設定' tab.

モジュールID - ショートカットに追加

キャッシュファイルの管理

a-blog cms では複数のキャッシュを使い、パフォーマンスを高めています。ページキャッシュ以外のキャッシュは「ルートブログ」で「編集者以上」のユーザーのみキャッシュのクリアが可能です。

クリアしたいキャッシュにチェックをつけて「キャッシュをクリア」ボタンを押してください。

キャッシュクリア

クリア対象
<input checked="" type="checkbox"/> ページキャッシュ
<input checked="" type="checkbox"/> テンプレートキャッシュ
<input type="checkbox"/> コンフィグキャッシュ
<input type="checkbox"/> カスタムフィールドキャッシュ
<input type="checkbox"/> モジュールキャッシュ
<input type="checkbox"/> 一時的なキャッシュ

ダッシュボード - キャッシュクリア

キャッシュファイルの有効期限

キャッシュは以下の条件で有効期限切れとなります。

- 指定した有効期限が切れた時
- 管理画面上でキャッシュをクリアした時
- 該当するエントリーが更新された時
- 該当するコンフィグやコンテンツが更新された時

また、管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>キャッシュ設定より、有効時間や対象ブログを細かく設定できます。この画面に限らず、管理画面の設定項目のほとんどにはツールチップが用意されています。設定時にはツールチップを参考にしてください。

ページキャッシュ設定
コンフィグセット 基本設定

一覧 保存 インポート エクスポート ★ ショートカットに追加

ページキャッシュ設定

ページキャッシュ 有効

POST時のキャッシュクリア クリアする (オフでもエントリ更新時の該当エントリのキャッシュはクリアします)

読者ユーザーの場合 読者の場合ログインしていても、ページキャッシュを有効にする
キャッシュが有効な時間です。この時間内で同じデータに複数回アクセスがあった場合、2回目以降はキャッシュファイルが表示されます。

キャッシュ有効時間 秒

エントリーキャッシュ有効時間 秒

キャッシュクリアの対象ブログ

クライアントキャッシュ設定

キャッシュ有効時間 秒

キャッシュ設定 - ツールチップ表示

メンテナンスマード

メンテナンスマードとは、ダッシュボードの画面からウェブサイトの表示をメンテナンス用テンプレートに切り替える仕組みです。デフォルトではメンテナンス画面は次のようにになります。

メンテナンス中

システムメンテナンスのため、ウェブサービスを一時停止しております。ご利用の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、今しばらくお待ち下さい。

デフォルトのメンテナンス画面

メンテナンス画面を独自に用意する場合は、事前にご使用中のテーマ内に themes/system/_maintenance.html を複製してカスタマイズしておいてください。

メンテナンス表示用の画面は管理者以外に適用され、管理者には通常通りのウェブサイトが表示されます。

メンテナンスマードに切り替えるためには「メンテナンス開始」ボタンをクリックし、終了時には「メンテナンス終了」ボタンをクリックします。

メンテナンスモード

管理者以外のこのブログ以下へのアクセスをメンテナンス表示にします。

状態	出力ページのHTTPステータス	設定
-	503 (サービス利用不可) ページ ▾	メンテナンスを開始

メンテナンスモード

管理者以外のこのブログ以下へのアクセスをメンテナンス表示にします。

状態	出力ページのHTTPステータス	設定
メンテナンス中	503 (サービス利用不可) ページ	メンテナンスを終了

ダッシュボード - メンテナンスモード

出力ページのHTTPステータスに関しては、メンテナンスページを利用する用途に応じて使い分けます。

出力ページのHTTP ステータス	使用するケース
503(サービス利用 不可ページ)	工事中の表示など、Googleなどのロボットにインデックスされたくないときに使用する
200(正常ページ)	ティザーサイトなどGoogleなどのロボットにインデックスされてもいい正常なページを表示したいときに使用する

❖ エントリーの管理

エントリー管理で出来ること

a-blog cmsでは、通常は投稿者以上の権限を持つユーザーが、自分が所属するブログに対してエントリーを作成・編集していきます。

管理者としてのエントリー管理は、エントリーの詳細ページでは出来ない、複数エントリーに対する一括処理やエントリーが所属するブログ、エントリーのオーナーとなるユーザーの変更などが主な役割となります。

エントリー一覧画面

管理画面左側のメニュー[エントリー]から、エントリー管理の画面へ移動します。

ここではエントリー全体の情報をみることもできますし、絞り込み機能によって、エントリーの情報(ブログ、カテゴリー、ユーザー、公開情報など)で絞り込んで一覧を表示することもできます。

The screenshot shows the 'Entry Management' page in the a-blog cms admin panel. The left sidebar contains a navigation menu with various icons and links: Dashboard, Update, Publishing Management, Entry (which is highlighted with a red box), Trash, Category, Tag, Media, Site Management, Blog, User, Member, Form, Comment, Schedule, and Cart. The main content area has a search bar with fields for Category, Keyword, and Title. Below it are filtering options for Status, Date, and User, along with checkboxes for 'Show sub-blogs' and 'Show sub-categories'. There are also buttons for Sorting (by Date or ID), Number of items per page (20), and a 'Search' button. At the bottom right of the search area is a red box around the 'Advanced Search' button. The main table lists three entries with columns for ID, Status, Title, Date, Blog/Cat, and User. Each entry row has a red box around the 'Edit' button. A red box also highlights the 'Create Entry' button at the bottom right of the table area.

ID	Status	Title / Code	Date	Blog / Category	User
51	113	物件情報32 entry-51.html	2023/09/10 15:41	a-blog cms 物件情報	admin
43	105	物件情報24 entry-43.html	2023/09/10 15:41	a-blog cms 物件情報	admin
24	86	物件情報05 entry-24.html	2023/09/10 15:41	a-blog cms 物件情報	admin

エントリー管理 - 詳細検索をクリックして開いた状態

このページでの役割は大きく2つで、1つは「個別エントリーに対する編集・複製・削除処理」で、2つ目は「複数のエントリーを一括して処理」です。

個別エントリーに対する編集・複製・削除処理

エントリー個別に対しての編集や複製、削除は、各エントリーの右端にあるプルダウンからできます。

編集画面は、一般ユーザーがエントリーを編集する方法と同様のものとなります。



The screenshot shows a table of entries with columns for ID, Status, Title/Code, Date, Blog/Category, and User. For the entry with ID 43, the user is 'admin'. A red box highlights the dropdown menu next to the user icon, which contains three options: '編集' (Edit), '複製' (Duplicate), and '削除' (Delete).

セレクトメニューからの複数エントリーの一括処理

エントリーの左端にあるチェックボックスをチェックしてセレクトメニューから動作を選び、変更ボタンをクリックすることで複数のエントリーを一括して処理することもできます。



The screenshot shows a table of entries with a sidebar menu on the left containing options such as '表示順' (Display Order), 'ステータス' (Status), 'ユーザー' (User), 'カテゴリー' (Category), 'ブログ' (Blog), '複製' (Duplicate), 'エクスポート' (Export), and '削除' (Delete). In the main table, several entries have their first checkboxes checked. A red box highlights the '変更' (Change) button at the top right of the table, indicating that changes can be applied to the selected entries.

セレクトメニューから一括で可能な操作は

- 表示順の変更
- ステータスの変更
- 持ち主となるユーザーの変更
- 所属するカテゴリーの変更
- 所属するブログの変更

- 複製
- エクスポート
- 削除

の8種類です。

エントリー表示順の変更

エントリーの一覧表示などで、表示順を変更したい場合があります。表示順については、各モジュールIDの設定に依存するため、カスタマイズ担当者にご確認いただく必要があります。

日付順であれば個別エントリーの日付部分で、表示順であれば管理ページのエントリーの一覧でそれぞれ変更できます。

エントリーのまとめて操作

セレクトメニューからの複数エントリーの一括処理より細かい情報を一括で操作する方法として、エントリーのまとめて操作も用意されています。

まとめて操作で変更可能な項目

- ステータス
- カテゴリー
- サブカテゴリ
- タグ
- 日時
- 公開日時
- 掲載期限
- インデキシング
- リンク先URL
- 所有者(ユーザー)
- キーワード
- 検索エンジン
- サイトマップ
- RSS
- カスタムフィールドの値(※カスタマイズした場合のみ)

使い方

まず、管理ページ>エントリーの順にページを移動し、「まとめて操作」のボタンをクリックします。

エントリー管理

検索条件 カテゴリー	全てのカテゴリー	キーワード	タイトル・本文・カスタムフィールドから検索（複数指定可）
<input type="button" value="検索"/>	<input style="border: 2px solid red; background-color: #e6f2ff; color: black; font-weight: bold; padding: 2px 10px; margin-left: 10px;" type="button" value="まとめて操作"/>	<input type="button" value="詳細検索"/>	

エントリー管理 - まとめて操作をクリック

手順 1/3: 操作エントリーの選択の画面で変更したいエントリーにチェックをつけて、「選択したエントリーを操作」をクリックします。該当のエントリーが見つけづらい場合は、検索フィルターを使用します。

一括変更

手順 1/3: 操作エントリーの選択

検索条件 カテゴリー	物件情報 (30)	キーワード	タイトル・本文・カスタムフィールドから検索（複数指定可）		
<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="詳細検索"/>				
<input type="button" value="選択したエントリーを操作"/> 入力項目設定					
<input type="checkbox"/> ID	ステータス	タイトル / コード	日時	ブログ / カテゴリー	ユーザー
<input checked="" type="checkbox"/> 1002	公開	物件情報28 entry-1002.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 992	公開	物件情報18 entry-992.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者
<input type="checkbox"/> 990	公開	物件情報16 entry-990.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 984	公開	物件情報10 entry-984.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 980	公開	物件情報7 entry-980.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 998	公開	物件情報24 entry-998.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者
<input type="checkbox"/> 985	公開	物件情報11 entry-985.html	2019/11/14 16:42	<input type="checkbox"/> ビギナーテーマ <input type="checkbox"/> 物件情報	管理者

まとめて操作 - 手順 1/3: 操作エントリーの選択

手順 2/3:操作の選択の画面まで進んだら、変更したい変更項目にチェックをつけ、変更値を入力します。(カスタマイズされている場合は、カスタムフィールド の内容も変更可能です)

一括変更

手順 2/3: 操作の選択

戻る [最終確認画面へ](#)

② 変更項目	② 変更値
<input checked="" type="checkbox"/> ステータスの変更	公開 <input type="button" value="▼"/>
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリーの変更	お知らせ (4) <input type="button" value="▼"/>
<input type="checkbox"/> サブカテゴリーの変更	サブカテゴリーを選択します。 (キーワードを入れて絞り込み) <input type="button" value="▼"/>
<input type="checkbox"/> タグの変更	タグを選択もしくは、新しいタグを入力します。 (キーワードを入れて絞り込み) <input type="button" value="▼"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 日時の変更	2019-12-24 <input type="button" value="日付"/> <input type="button" value="時間"/> <input type="button" value="リセット"/>
<input type="checkbox"/> 公開日時の変更	<input type="button" value="日付"/> <input type="button" value="時間"/> <input type="button" value="リセット"/>
<input type="checkbox"/> 掲載期限の変更	<input type="button" value="日付"/> <input type="button" value="時間"/> <input type="button" value="リセット"/>
<input type="checkbox"/> インデキシングの変更	<input type="checkbox"/> 一覧に表示する
<input type="checkbox"/> リンクURLの変更	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 所有者の変更	管理者 <input type="button" value="▼"/>
<input type="checkbox"/> キーワード	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 検索エンジン	<input type="checkbox"/> 検索エンジンに表示しない
<input type="checkbox"/> サイトマップ	<input type="checkbox"/> サイトマップに表示しない
<input type="checkbox"/> RSS	<input type="checkbox"/> RSSに表示しない

まとめて操作 - 手順 2/3:操作の選択

手順 3/3: 最終確認・実行の画面まで進み、変換内容を確認して問題がなければ「一括変更を実行」をクリックします。

一括変更

手順 3/3: 最終確認・実行

[戻る](#) [一括変更を実行](#)

変換内容

操作	設定値
ステータスの変更	open
カテゴリーの変更	お知らせ
日時の変更	2019-12-24 10:48:53

対象エントリー

eid	ステータス	タイトル	コード	日時	カテゴリー	ユーザー
980	公開	物件情報7	entry-980.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
984	公開	物件情報10	entry-984.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
992	公開	物件情報18	entry-992.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
998	公開	物件情報24	entry-998.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
1002	公開	物件情報28	entry-1002.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者

まとめて操作 - 手順 3/3: 最終確認・実行

❖ ゴミ箱について

エントリーの削除の実態

a-blog cmsでは、エントリーの編集ページや管理ページのエントリー一覧からエントリーの削除を行います。しかし、この時点では完全に削除しておらず、管理ページの「ゴミ箱」へ移動した状態となります。

ゴミ箱内のエントリーは、公開サイト上では存在しないものとなり、ログイン状態でも非公開として表示されません。管理ページ>ゴミ箱の画面でのみ確認・操作できます。

完全削除

削除＝ゴミ箱に入ったエントリーのデータを完全に削除してしまう場合には、リストから削除したいエントリーを選択して、画面左上のメニューから完全削除を選択して削除します。

この操作を行った場合、a-blog cmsではエントリーを復元することはできません。

復元

ゴミ箱内のエントリーは、完全削除をしていない状態であれば復元できます。

復元した場合はバージョン情報を保持した状態で、非公開で再度サイト上に表示されます。

❖ カテゴリーの管理

一覧からのカテゴリー管理

ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー【カテゴリー】から、カテゴリーの一覧画面へ移動します。

カテゴリー一覧画面での管理

この画面では、そのブログに登録されているカテゴリーが一覧で表示されています。

このページでの役割は大きく2つで、1つは「個別カテゴリーに対する編集処理」で、2つ目は「複数のカテゴリーを一括して処理」です。

The screenshot shows the 'Category Management' page of the 'a-blog cms'. At the top, there's a header with 'a-blog cms' and a link to 'Category Management'. On the right, there's a button labeled 'サイトを表示' (View Site). Below the header is a search bar with '検索条件' (Search Conditions) and 'キーワード' (Keyword), followed by a dropdown for 'ソート' (Sort) set to '表示順 (昇順)' (Ascending Order) and a '表示数' (Number of Items) dropdown set to 20, with a '表示' (Display) button. To the right of these is a green '新規カテゴリー作成' (Create New Category) button. The main area is a table listing categories. The columns are: 表示順 (Display Order), ステータス (Status), カテゴリーネーム (Category Name), ID / コード (ID / Code), エントリー数 (Entry Count), コンフィグセット (Config Set), テーマセット (Theme Set), 編集画面セット (Edit Page Set), グローバル (Global), and アクション (Actions). There are 6 items listed:

表示順	ステータス	カテゴリーネーム	ID / コード	エントリー数	コンフィグセット	テーマセット	編集画面セット	グローバル	アクション
1	公開	製品情報	products	0	-	-	-	グローバル	<button>変更</button> <button>子カテゴリー</button>
2	公開	会社概要	company	3	-	-	-	-	<button>変更</button>
3	公開	お問い合わせ	contact	1	-	-	-	-	<button>変更</button>
4	公開	採用情報	recruit	3	-	-	-	-	<button>変更</button>
5	公開	物件情報	realestate	32	-	-	-	-	<button>変更</button>
6	公開	トップページ	top	1	-	-	-	-	<button>変更</button>

At the bottom right of the table, it says '1件 - 6件 / 全6件' (1 item - 6 items / All 6 items).

個別のカテゴリーに対しての編集と削除

個別のカテゴリーに対しての編集は、各カテゴリーの右端にある「変更」ボタンからできます。公開、非公開のステータス変更や、カテゴリー名やコードネーム、親カテゴリーなど、カテゴリーに関する各種情報を個別のカテゴリーに対して編集できます。

また、カテゴリーの削除も、カテゴリーの一覧からではなく、カテゴリーの詳細から個別に行います。カテゴリー詳細画面で「削除」ボタンをクリックしてください。

カテゴリー詳細

一覧	保存	削除
基本設定	カスタム設定	
ID ? 2 ステータス ? <input checked="" type="checkbox"/> 公開 カテゴリーネーム ? <input type="text" value="お知らせ"/>		

複数のカテゴリーを一括して処理

複数のカテゴリーに対して、一括して以下の処理をすることもできます。

- 表示順の変更
- 親カテゴリー
- ステータス

これらの処理を行いたいエントリーの左端のチェックボックスにチェックをして、一覧左上のセレクトメニューから処理を選びます。

✓ 表示順		変更
親カテゴリーを ステータス		
<input checked="" type="checkbox"/>	1	公開 お知らせ
<input checked="" type="checkbox"/>	2	公開 製品情
<input checked="" type="checkbox"/>	3	公開 会社概

カテゴリー管理についての注意点

カテゴリーのコードネーム変更や追加・編集などはサイトの表示に大きく影響する場合があります。カテゴリーの管理にあたっては、サイト制作者、カスタマイズ担当者にご相談ください。

❖ タグの管理

タグ一覧画面

管理画面左側のメニュー【タグ】から、タグ一覧画面へ移動します。タグ一覧では、そのブログに登録されているタグが一覧で表示されています。このページでは一覧のみとなります。

The screenshot shows the 'Tag Management' section of the admin panel. At the top, there's a search bar with placeholder text '例) タグ1' and a button labeled 'サイトを表示'. Below the search bar are sorting and filtering options: 'ソート' (Sort by Tag Count (Descending)), '表示数' (Number of items: 300), and a '表示' (Display) button. A list of tags is displayed below, each with its count in parentheses: ぶどう (3), みかん (3), りんご (3), バナナ (3), and パイナップル (3). At the bottom right, it says '1件 - 5件 / 全5件'.

タグの管理(名称の変更・タグの削除)

名称の変更やタグの削除はタグ名をクリックしたタグの詳細ページより行います。

The screenshot shows the 'Tag Management' section with a 'Tag Detail' sub-page. At the top, there are buttons for '一覧' (List), '保存' (Save), and '削除' (Delete). Below these is a text input field labeled 'タグ名' with the value 'パイナップル'. There is also a small question mark icon next to the label.

タグの追加

タグの追加はエントリーの編集画面から行います。タグの管理ページからタグそのものを追加することはできません。

❖ ブログの管理

a-blog cmsのブログ構造

a-blog cmsでは、ブログという単位でコンテンツを管理しています。管理画面左側のメニュー【ブログ】から、現在のブログの情報を確認できます。

ブログ管理の画面では、現在のブログのステータス(公開、非公開)や名前、ドメイン、コードネームなどが確認できます。

また、現在のブログに子ブログ(関連する下位ブログ)がある場合には子ブログがリストとして表示されます。

The screenshot shows the 'Blog Management' section of the a-blog cms interface. At the top, there's a header bar with the CMS name and a 'Site Display' button. Below it is a toolbar with a 'Save' button, a 'Shortcuts' button, and a 'Create Sub-Blog' button. The main area has tabs for 'Basic Settings', 'Custom Settings', and 'Export/Import'. The 'Basic Settings' tab is active, displaying fields for ID (1), Status (Public), Name (a-blog cms), Domain (acms.lab), Code Name, Configuration Set (Basic), Theme Set (site theme), Edit Page Set (Basic), and Indentation (List). The 'Indentation' checkbox is checked. The 'Theme Color' field is set to #FF0000. A 'Site Logo' field shows 'Choose File' and 'No file chosen'. Below this is a sorting and filtering toolbar with 'Sort by Display Order', 'Display Number (20)', and a 'Display' button. The main content area shows a table titled 'Sub-Blogs' with two entries. The first entry is 'お知らせ' (ID 1, Public, URL: http://acms.lab/news/). The second entry is '会員サイト' (ID 2, Public, URL: http://acms.lab/members/). Both entries have a 'Move' button next to them. The entire table is highlighted with a red border.

ブログ情報の編集

ブログの管理画面では、a-blog cms標準の基本情報と、ブログのカスタムフィールドにあたるカスタム設定、ブログのデータをzip形式でエクスポート・インポートできる機能があります。

このうち、基本情報についてはブログ名やドメイン、コードネーム（URLとして使用される文字列）となりますので、運用中に変更することは基本的にありません。使用するテーマやカスタマイズによって、カスタム設定には変更が必要な項目が追加される可能性があります。



子ブログの管理

ブログ管理ページ下部の子ブログリストでは、エントリーやカテゴリーと同様に現在のブログの情報を確認できます。

- 表示順の変更
- ステータス（公開／非公開）の変更
- 親ブログの変更
- コンフィグセットの変更

ブログの管理についての注意

ブログの編集や子ブログの追加・編集はサイトの表示に大きく影響する場合があります。ブログ全体の編集や子ブログの作成にあたっては、サイト制作者、カスタマイズ担当者にご相談ください。

❖ ユーザーの管理

ユーザーの作成

a-blog cmsでは、基本的に管理者がユーザーを作成します。外部からメールアドレスを登録して発行する方法もありますが、ここでは管理ページからユーザーを作成する方法について解説します。ユーザーの作成は、管理ページ>ユーザー画面右上の「ユーザー作成」ボタンから行います。

ユーザー管理

一覧 作成

基本設定 カスタム設定

ステータス ② 有効 有効期限 : 9999-12-31

名前 ② (日本語可)

ユーザーID ② (英数字)

アイコン画像 ② Choose File No file chosen

メールアドレス ② メールマガジンを受け取る (HTML)

URL ②

パスワード ②

新しいパスワードを確認 ②

2段階認証 ② 設定する

権限 ② 投稿者

インデキシング ② リストに出す

どこでもログイン ② 他のブログからログイン

ログイン制限 ② 許可された端末からのみログインを許可

ロケール ② 日本語 (ja_JP.UTF-8)

子ブログへの権限 ② 子ブログにも権限を与える

ユーザー作成画面

ユーザー作成画面には入力欄が多数ありますが、特徴的なものについて以下に説明します。

- ステータス

デフォルトで有効期限は9999-12-31、つまり実質無期限となっています。有効期限を区切る場合には、ここに具体的な日付を入力してください。

- アイコン画像

a-blog cmsの管理画面内でユーザーの識別のために使用されるアイコンです。アップロードした画像は64ピクセル四方になります。

- 権限

a-blog cmsでできることによって読者、投稿者、編集者、管理者の4段階の権限があります。権限についての詳細は後述します。

- どこでもログイン

a-blog cmsでは、標準機能ではユーザーが所属しているブログでしかログインできません。このチェックをすることで、所属しているブログ以下の子ブログでもログインができるようになります。

ユーザーの作成についての制限

a-blog cmsでは、ライセンスによって作成できるユーザー数に制限があります。

ユーザー数の制限は、投稿者、編集者、管理者に適用され、読者ユーザーはユーザー数制限に含まれません。

許可されているユーザー数を越えると、読者以外の新規のユーザーが作成できなくなります。

ライセンスごとのユーザー数は、オプションとしてユーザー数の追加をご用意しています。

ユーザーの権限について

a-blog cmsのユーザーには4種類の権限があります。必要に合わせて選択してください。

管理者	サイトの管理者として全ての設定ができます
編集者	新規エントリー作成・編集／投稿管理(エントリー・カテゴリー・タグ・コメント・ トラックバックバック)／サイト管理(ユーザーのプロフィールのみ)／Ping送信ができます
投稿者	新規エントリー作成・自分が作成したエントリーの編集／投稿管理(エントリー)／サイト管理(ユーザーのプロフィールのみ)／Ping送信ができます ※承認機能ON時は、他の人が作成したエントリーも編集・承認依頼ができます。(直接変更を公開することはできません)
読者	所属するブログへのログインと、自身のプロフィール変更のみができます

所属ブログとユーザーの権限について

a-blog cmsではブログごとにユーザーを作成します。ユーザーの権限として、自身が所属するブログまたは自身が所属するブログの下位ブログ(子ブログ)ではエントリー作成などの管理行為ができますが、それ以外のブログではログインができず、管理をおこなうことはできません。

ログインパスワードを変更・再設定する

読者を含むa-blog cmsのユーザーは、自分自身でログインパスワードを変更できます。ログイン後、ユーザー管理ページから自身のアカウント右端の「変更」ボタンか、ログイン時のサイト上に表示されている管理ボックス(管理用ボタン等が表示されているスペース)内の「プロフィール」リンクから変更できます。



管理ボックス内の「プロフィール」リンク

❖ フォームの管理

フォームIDについて

a-blog cmsのフォームは、フォームごとにフォームIDというもので区別されています。このフォームIDによって、メールの宛先や送られるメールのテンプレートなどが個別に設定されています。

フォームIDは、サイトで使用するテンプレートファイル側への記述が必要になります。フォームIDの作成やテンプレートファイルへの記述方法につきましては、カスタマイズ担当者にお問い合わせください。

ここでは、運用中のフォームでの情報変更について解説します。

フォームIDの一覧でできること

管理画面左側のメニュー【フォーム】から、フォームIDの一覧画面へ移動します。管理ページ>フォーム管理画面には各フォームIDについて、情報を確認・編集できる「変更」と、そのフォームIDへ投稿されたデータの確認ができる「投稿データ」の2つのボタンがあります。

フォーム管理					
ソート	作成順（昇順）	表示数	20	表示	
					フォームIDを作成
フォームID	フォーム名	最新の投稿	投稿数	グローバル	アクション
contactForm	お問い合わせフォーム	1000-01-01 00:00:00	0	-	変更 投稿データ
recruitForm	採用フォーム	1000-01-01 00:00:00	0	-	変更 投稿データ
1件 - 2件 / 全2件					

フォームごとの設定

フォームIDのリスト右側の「変更」ボタンから各種情報の変更画面に移動します。この画面では一般メール設定(フォームの送信者に送られるメール)と、管理者宛メール設定のそれぞれを設定できます。

この中で、テンプレートと独立して値を変更できる項目は限られています。サイト制作者、カスタマイズ担当者にご相談の上、注意して編集してください。また、各項目の詳細につきましては、項目部分の「？」アイコンから表示される解説をご覧ください。

投稿されたデータの確認

フォームIDのリスト右側の「投稿データ」ボタンから投稿データ一覧に移動します。この画面ではこのフォームIDに送られたメールの内容がリストとして表示されています。

宛先のカラムにはメールアドレスが表示され、クリックすることでメールが起動します。件名／本文部分の「本文を表示」をクリックすると、フォームの入力者へ送られたメールの本文が表示されます。

<input type="checkbox"/>	日時	通番	宛先	件名 / 本文
<input type="checkbox"/>	2024-11-01 11:01:33	0003	kasaya@appleple.com	件名: [a-blog cms] お問い合わせ内容確認 No.2024111110133 <input type="button" value="本文を表示"/>
<input type="checkbox"/>	2024-10-21 18:06:16	0002	kasaya@appleple.com	件名: [a-blog cms] お問い合わせ内容確認 No.20241021180616 <input type="button" value="本文を表示"/>
<input type="checkbox"/>	2024-10-21 18:01:18	0001	kasaya@appleple.com	件名: [a-blog cms] お問い合わせ内容確認 No.20241021180118 <input type="button" value="本文を表示"/>

投稿データ一覧

投稿の削除

削除したいデータの左端のチェックボックスにチェックを入れ、「チェックした投稿データを削除」ボタンをクリックすることで投稿を削除できます。また、ここで削除した投稿のデータは復元できませんのでご注意ください。

投稿されたデータのダウンロード

「XX件の投稿データをCSV形式で(文字コード)ダウンロード」のボタンから全ての投稿データをCSVファイルとしてダウンロードできます。文字コードはデフォルトではUTF-8で、セレクトメニューからShift-JIS、EUC-JPも選択可能です。

❖ スケジュールの管理

スケジュールセットとは

ここではスケジュールモジュールで使用するデータ(スケジュールセット)の管理方法について解説します。

スケジュールセットを利用する場合は、テンプレートファイル側への記述が必要になります。スケジュールセットの作成やテンプレートファイルへの記述方法につきましては、カスタマイズ担当者にお問い合わせください。

スケジュールセットの確認や修正を行う場合は、管理画面左側のメニュー【スケジュール】から、スケジュールセットの一覧画面へ移動します。

登録データの確認と編集

管理ページ>スケジュール管理内の登録データの「表示」ボタンで、そのスケジュールセットに登録されている情報が表示されます。

ID	セット名	説明	登録データ	ラベル	詳細
1	営業日カレンダー		<button>表示</button>	<button>設定</button>	<button>変更</button>

スケジュール管理画面

最初に当月の情報が表示されます。日付ごとにラベルを選択したり内容を入力、編集したりして、月ごとに「保存」をクリックしてください。必要に応じて次月や前月に移動して入力、編集、保存してください。

a-blog cms / スケジュール管理 / スケジュールのデータ詳細

サイトを表示

スケジュール管理

一覧 保存 ★ ショートカットに追加

« 前月(2024-10-01) 2024 年 11 月を 編集する 次月(2024-12-01) »

2024年 11月

1 (金)	臨時休業	イベント出展のためお休みをいただきます。
2 (土)	✓ 設定しない 臨時休業	
3 (日)	ナイター講習	

イベント出展のためお休みをいただきます。

✓ 設定しない
臨時休業
ナイター講習

スケジュール管理 - データ詳細

ラベルの設定

スケジュールセット一覧画面の、ラベルの「設定」ボタンで、そのスケジュールセットに登録されているラベル情報が表示されます。ラベルと、必要に応じてクラスを設定し、「保存」ボタンで変更内容を保存します。ラベルの表示箇所やクラスの装飾はテンプレートに依存していますので、テンプレートの変更が必要な場合にはサイト制作者、カスタマイズ担当者にご相談ください。

スケジュール管理

一覧 保存 ★ ショートカットに追加

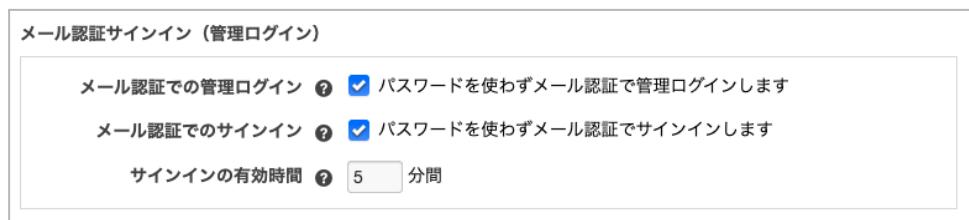
表示順	ラベル名 (必須)	クラス (省略可)
1	臨時休業	closed
2	ナイター講習	night
3		

スケジュール管理 - データ詳細

ログイン方法の設定

メール認証サインイン(管理ログイン)を設定する

メール認証サインイン(管理ログイン)を設定するとパスワードの記憶／記録の必要がなく、メールアカウントだけでサインイン／ログインが可能です。



メール認証サインイン（管理ログイン）

メール認証での管理ログイン パスワードを使わずメール認証で管理ログインします

メール認証でのサインイン パスワードを使わずメール認証でサインインします

サインインの有効時間 分間

ログイン設定 - メール認証サインイン(管理ログイン)

管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>ログイン設定で、メール認証での管理ログイン／メール認証でのサインインにチェックを入れることで、それぞれをメール認証に変更することができます。それぞれの画面からメールアドレスのみを入力して送信することで、「管理ログイン認証 [a-blog cms]」「サインイン認証 [a-blog cms]」という件名のメールが届きます。有効時間内にメールの指示にしたがってログイン／サインインしてください。

2段階認証を設定する

2段階認証を設定すると、ログインページでのユーザーIDとパスワードの入力だけではなく、スマートアプリからの認証も必須になります。ログインを2段階にすることで、本人以外による不正ログインを防ぎます。

2段階認証を設定するには、管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>ログイン設定のページに移動し、「2段階認証」の項目を有効にします。

セキュリティ

ログインクッキー有効時間 ② 259200 秒 (`.env` ファイルの「SESSION_COOKIE_LIFETIME」に秒数を設定することで変更できます。)

アカウントロック ② 5 分の間に 5 回パスワードが間違った場合、アカウントをロックする

アカウントロック時間 ② 5 分間ロックする

パスワード変更の有効時間 ② 15 分間

2段階認証 ② 設定できるようにする

ログイン設定 - セキュリティ

スマートフォン側の準備として、Androidをお使いの場合は、**Google Authenticator for Android**、iOSをお使いの方は**Google Authenticator for iOS**のアプリをインストールしてください。

ユーザー一覧のページに移動し、二段階認証を有効にしたいユーザーを選び「変更」ボタンをクリックします。

名前 ② 管理者 (日本語可)

ユーザーID ② admin (英数字)

アイコン画像 ②

削除 No file chosen

メールアドレス ② info@appleple.com

メルマガジンを受け取る (HTML)

URL ②

パスワード ②

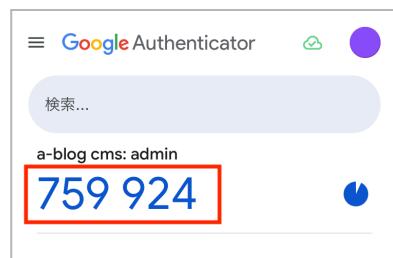
2段階認証 ②

ユーザー管理

Google Authenticator で、「コードを追加」あるいは「+」をタップし、QRコードを読み取るか、手動でシークレットキー(セットアップキー)を入力してください。



Google Authenticator for iOS の画面



Google Authenticator に認証コードが表示されます

次に、Google Authenticator に表示された認証コードを CMS の 2 段階認証設定画面に入力し、「認証」ボタンをクリックして認証します。



2段階認証設定画面

リカバリーコード

2段階認証の設定に成功すると、リカバリーコードが表示されます。このリカバリーコードは一度しか表示されないため、必ずどこかにメモしてください。リカバリーコードはログアウトした状態から2段階認証を解除したい場合に役立ちます。



リカバリーコードの表示画面

ログイン試行回数を制限する「アカウントロック」

アカウントロック機能では、パスワード入力の施行回数を制限できます。管理画面>コンフィグ>使用しているコンフィグ>ログイン設定から設定できます。

セキュリティ

ログインクッキー有効時間 864000 秒

アカウントロック 5 分の間に 5 回
アカウントロック時間 5 分間ロックする

パスワード変更の有効時間 15 分間

2段階認証 設定できるようにする

ダッシュボード - セキュリティ

アカウントロック機能は、ブルートフォースアタックからサイトを守るための機能です。ブルートフォースアタックというのは、パスワードを特定するために、使用できる文字の全ての組み合わせを試行し、不正ログインを試みる攻撃のことです。

アカウントロック機能ではロックする条件と、ロックする時間が設定可能です。

✳ バックアップと復元

バックアップとリストア(復元)について

a-blog cmsでは、標準機能としてa-blog cms全体のバックアップと復元ができます。管理画面左側のメニュー[バックアップ]から、バックアップとリストア(復元)を行います。

a-blog cmsのバックアップに必要なデータ

a-blog cmsのバックアップに必要なデータは大きく3つあります。

- ユーザー・ブログ・エントリーなどの情報となる「データベース」
- エントリー等に添付する画像などのファイル「アーカイブ」
- サイトを表示するためのテンプレートファイル「テーマ」

バックアップとリストア(復元)にはこれらのファイルが必要になります。

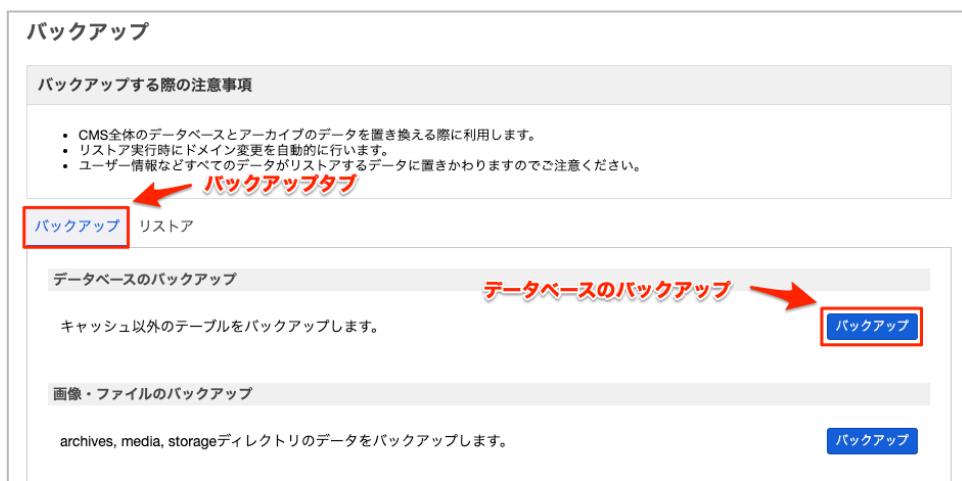
「データベース」と「アーカイブ」は管理ページ内からバックアップファイルを作成し、「テーマ」はFTPソフトなどでバックアップ元のサーバからダウンロードしたものを使用します。

バックアップ・リストア時の注意事項

バックアップデータのファイル形式はzip形式のみとなります。zip形式のまま使用しますので、展開(解凍)しないでください。

バックアップ処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重に行ってください。

データベースをバックアップする

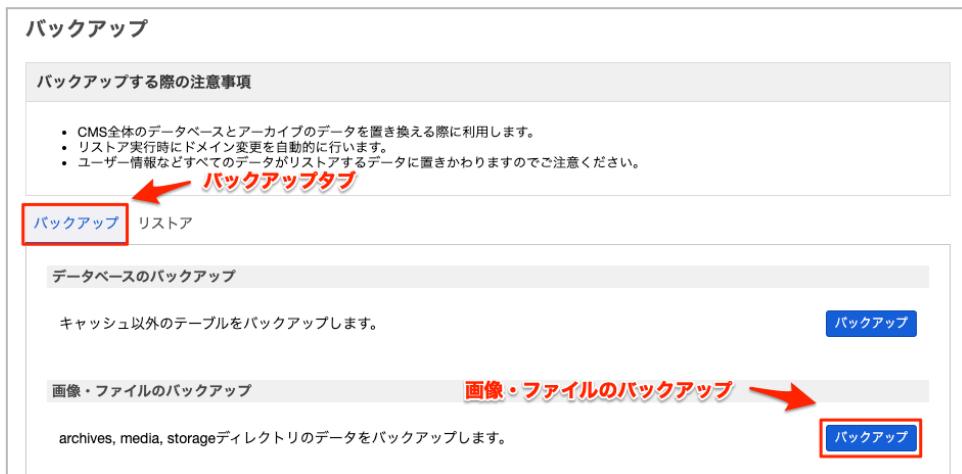


1. 管理画面左側のメニュー【バックアップ】のリンクをクリックして[バックアップ]画面を表示します。
2. 「バックアップ」タブのデータベースのバックアップにある「バックアップ」ボタンをクリックします。
3. zip形式でダウンロードされます。

※ダウンロードには時間がかかる場合があります。

もし失敗するようであれば、a-blog cms を設置しているサーバーの「archives」ディレクトリーのパーミッションを「777」(一部環境では755)に設定して再度お試しください。

アーカイブディレクトリをバックアップする



1. 管理画面左側のメニュー【バックアップ】のリンクをクリックすると、[バックアップ管理]の画面が表示されます。
2. 「バックアップ」タブの画像・ファイルのバックアップにある「バックアップ」ボタンをクリックします。
3. zip形式でダウンロードされます。

※ダウンロードには時間がかかる場合があります。

もし失敗するようであれば、a-blog cms を設置しているサーバーの「archives」ディレクトリーのパーミッションを「777」(一部環境では755)に設定して再度お試しください。

バックアップデータからリストア(復元)する

1. a-blog cms でエクスポートしたzipファイルを用意します。用意したzipファイルを、データベースのバックアップファイルの場合には /storage/backup_database/ 、アーカイブのバックアップの場合 /storage/backup_archives/ にFTPソフトなどを使ってファイルをアップロードして下さい。

※ 該当のディレクトリがない場合は作成してください。

2. リストア先にバックアップ元のテーマがない場合、バックアップ元のthemesディレクトリをリストア先のthemesディレクトリにコピーします。コンフィグで指定しているテーマがない状態でデータベースをリストアすると404エラーになってしまいますが、その後でもテーマをコピーすればエラーは直ります。

3. 管理画面左側のメニュー【バックアップ】のリンクをクリックすると、[バックアップ管理]の画面が表示されます。
4. リストアに関する機能は「リストア」タブにあります。元のデータベースについては「元のテーブルをリネームして残しておく」を選択することにより元のデータベースを名前を変え残します。またバージョンチェックでは「バックアップファイルと現在のシステムをバージョン照合する」を選択することでバージョンチェックを行います。バックアップ元とリストア先が同じバージョンでないとリストアできなくなります。
5. リストアするデータとなるバックアップファイルを選択します。ここで選択できるファイルは手順1.でbackup_databaseディレクトリ、backup_archivesディレクトリにアップロードしたファイルです。
6. それぞれの「リストア」ボタンを押すことによりリストアが実行されます。

リストア作業では、データを失う危険性があります。慎重に作業してください。

バックアップ

バックアップする際の注意事項

- CMS全体のデータベースとアーカイブのデータを置き換える際に利用します。
- リストア実行時にドメイン変更を自動的に行います。
- ユーザー情報などすべてのデータがリストアするデータに書きかわりますのでご注意ください。
- 一時領域に書き込む容量が少ないとバックアップに失敗する可能性があります。その時は、config.server.phpに下記のようなコードを書き、一時領域を変更ください。

```
1. putenv('TMPDIR=/path/to/tmp'); // ドキュメントルートより上の階層を設定ください
```

バックアップ **リストア** 1. 「リストア」タブを選択

データベースのリストア

元のデータベースについて インポート後に元のデータベーステーブルを自動で削除する バージョンチェック バックアップファイルと現在のシステムをバージョン照合する 参照先: storage/backup_database/

バックアップファイル 参照先: storage/backup_archives/

database_20220531_1519.zip リストア **archives_20220531_1526.zip** リストア

リストア完了後、通知メールが送信されます。送信先: [REDACTED]

画像・ファイルのリストア

バックアップファイル 参照先: storage/backup_archives/

archives_20220531_1526.zip リストア

リストア完了後、通知メールが送信されます。送信先: [REDACTED]

2. サーバにアップロードされたバックアップファイルが選択できます

3. データベース、アーカイブをそれぞれ「リストア」します

バックアップ - リストアタブ

❖ アクセス制限

ブログ単位のアクセス制限

ここではブログ単位でアクセスを制限する方法を解説します。

管理画面左側のメニュー【ブログ】から、ブログの管理画面へ移動します。



ブログ管理 - 各ブログの詳細 - ステータス

この画面のステータスから公開状態を変更します。ステータスには3つの選択肢があります。

- 公開:一般に公開されています
- 非公開:一般には 403 Forbidden となり表示されません(該当ブログ以上のユーザーがログインしている場合には表示されます)
- シークレット:非ログイン状態で表示すると、ログイン画面が表示されます

一般に公開したくない内容であれば「非公開」で、読者登録しているユーザーなど、一部の方に公開するのであれば「シークレット」としておくのがよいでしょう。

3. 応用編

メールマガジン機能

a-blog cmsのメールマガジン機能とは

a-blog cmsでは、メールマガジン機能として、作成済みのエントリーをa-blog cmsのユーザーにメールとして送信する機能があります。

ブログのエントリーをHTMLメールのテンプレートを使って送ることで「自由なレイアウトを実現したり、効果的な画像を差し込める」「本文がブログのエントリーなので、メールマガジンのバックナンバー構築が容易」といったメリットが考えられます。

この機能の利用は管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>機能設定 から設定できます。



配信先について

この機能は、a-blog cmsのユーザーに対してメールを送信するものです。管理ページ>ユーザーで個別のユーザーの情報を登録・更新できます。このユーザー情報のメールアドレス欄に「メー

「ルマガジンを受け取る」のチェックボックスがあります。ここでチェックのあるユーザーに対してメールが配信されます。

ユーザー管理

一覧 保存 削除

基本設定 カスタム設定

ステータス 有効 有効期限 : 9999-12-31

名前 読者 (日本語可)

ユーザーID subscriber (英数字)

アイコン画像  削除 Choose File No file chosen

メールアドレス example@appleple.com メールマガジンを受け取る (HTML)

URL

個別ユーザー - 基本設定

初期値はチェックがされている状態ですが、機能設定のメールマガジン機能にチェックがされていなければ動作しません。

メールマガジンのメールの設定

送信先の他に、メールマガジンの送信元や件名、本文のテンプレート等を設定します。

これらの内容は管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>メール設定 から設定できます。

メールマガジン

From	example@example.com
To	example@example.com
件名テンプレート	mail/entry/subject.txt
本文テンプレート (TEXT)	mail/entry/body.txt
本文テンプレート (HTML)	mail/entry/body.html
一斉同報件数	50

メール設定 - メールマガジン

各欄の内容は以下の通りです。

- From

送信されるメールの差出人を指定します。

- To

テスト送信時の宛先を指定します。通常は送信者のメールアドレスと同じものを入力するといでしよう。実際の送信時には各ブログに属し、「メールマガジンを受け取る」にチェックの入っているユーザーにbccで送信されます。

- 件名テンプレート

送信されるメールの件名になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。

- 本文テンプレート(プレーンテキスト)

送信されるメールのテキスト形式の本文になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。

- 本文テンプレート(HTML)

送信されるメールのHTML形式の本文になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。

- 一斉同報件数

一通のメールでBccに指定する登録ユーザーのメールアドレスの最大数この数字を大きくし過ぎるとプロバイダによってはスパムと判断されてしまう場合があります。

テンプレートの準備

メールマガジン用の標準テンプレートは /themes/system/mail/entry/ に格納されています。

これらのテンプレートはあくまでベースとなるものですので、ご利用の際にお使いのテーマにこれらのテンプレートファイルを複製の上、カスタマイズする必要があります。

送信内容と、対象となるメーラーに合わせて適宜変更してご利用ください。各テンプレート内では a-blog cms の変数を使用できます。

- subject.txt

メールマガジンの件名のテンプレートです。

- body.txt

テキスト形式で送信する場合の本文のテンプレートです。

- body.html

HTML形式で送信する場合の本文のテンプレートです。

配信までの流れ

メールマガジン機能はエントリーを送信するため、まずエントリーを作成する必要があります。

ログインした状態で作成したエントリーを詳細表示すると、画面上部の管理ボックスにメールマガジン関連のボタンが表示されます。



エントリー詳細 - 管理ボックス

テスト送信

上記の状態では「一斉送信」にチェックがされていません。この状態で「このエントリーをメールで送信」を押すと、テスト送信としてコンフィグのメールマガジン設定で指定したTo宛にメールマガジンの内容がテスト送信されます。

一般のユーザー(Bcc宛)には送信されません。

本送信

「一斉送信」にチェックをした状態で「このエントリーをメールで送信」を押すと、選択したブログのユーザーで、メールマガジンを受け取るにチェックをしているユーザー宛にメールマガジンの内容が送信されます。

❖ SNSログイン機能

SNSログインとは

a-blog cmsには、X、Google、LINEの各ユーザー アカウントを使用してログインするSNSログイン機能があります。

1. a-blog cms のコンフィグでSNSログインを利用可能にする
2. 各サービスでの設定をして、必要なIDやキーを取得する
3. a-blog cms のコンフィグにそれらのIDやキーを入力する
4. SNSログインを利用させるa-blog cmsの各ユーザーを認証する

の4段階の作業が必要です。

※ Facebookでのログイン機能は将来廃止予定なので、ここでは説明を省きます。

SNSログインを利用可能にする

まずは、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>ログイン設定において、SNSログインにチェックを入れて保存します。



ログイン設定 - SNSログイン

Googleアカウントでのログインの準備

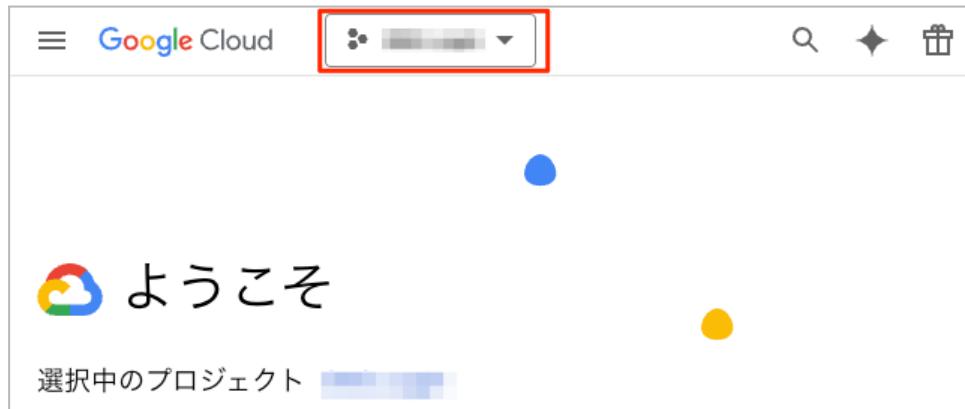
Googleアカウントを使ったSNSログインのための準備には「Client ID」と「Secret Key」の2つの情報が必要になります。

この2つの情報は、GoogleのOAuth クライアントIDを作成することで入手できます。

OAuth クライアント IDの作成手順

この手順は2024年11月現在のものです。X側の仕様変更がされる場合がありますのでご注意ください。

Google API Console(<https://console.cloud.google.com/>) にアクセスし、ログインします。(あらかじめログインしている場合には必要ありません。) 画面上にあるプロジェクトのセレクトメニューをクリックします。



Google API Console - 画面上部のプロジェクトセレクトメニュー

表示されるモーダルウィンドウで「新しいプロジェクト」をクリックします。



Google API Console - モーダルウィンドウ

プロジェクト名を入力し、「作成」をクリックします。

プロジェクト名*
a-blog cms project

プロジェクト ID: a-blog-cms-project-441108 後で変更することはできません。 [編集](#)

場所*
組織なし [参照](#)

親組織またはフォルダ

作成 [キャンセル](#)

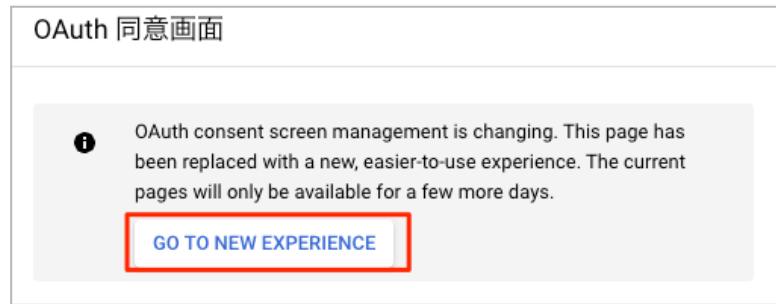
Google API Console - 新しいプロジェクト

作成したプロジェクトが選択されている状態で、認証情報の作成を行います。左メニューあるいはクリックアクセスから「API APIとサービス」をクリックし、「認証情報」を選択します。「認証情報を作成」から「OAuth クライアント ID」を選択します。

1. プロジェクトが選択されている状態
2. 認証情報をクリック
3. 認証情報を作成をクリック
4. OAuth クライアント IDを選択

Google API Console - 認証情報

クライアント ID の作成を行います。クライアント ID の作成画面からはじめに同意画面を設定します。下記のように表示される場合は GO TO NEW EXPERIENCE をクリックしてください。



OAuth 同意画面

次の画面では「開始」をクリックしてください。その次の画面では、アプリ情報を登録します。指示に従って入力し、「次へ」「続行」をクリックして進み、最後に「作成」をクリックしてください。

- アプリ名は「SNSログイン」等分かりやすいものにしておきます。
- 「対象」は Google Workspace 内のユーザーのみがログインできれば良い場合は「内部」を、そうでない場合は「外部」をクリックしてください。



アプリ情報を入力して「作成」ボタンをクリック

OAuthの概要画面でOAUTHクライアントを作成ボタンをクリックしてください。

OAuth の概要

指標

このプロジェクトの OAuth クライアントはまだ構成されていません。

OAUTH クライアントを作成

「OAUTHクライアントを作成」ボタンをクリック

OAuthクライアント ID の作成画面で「同意画面を設定」ボタンをクリックしてください。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#) をご覧ください。 OAuth クライアントの種類の[詳細](#)

▲ OAuth クライアント ID を作成するには、まず同意画面で設定を行う必要があります

同意画面を設定

「同意画面を設定」ボタンをクリック

次に表示される「アプリ情報」画面では、指示にしたがって入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。

承認済みドメイン [?](#)

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

承認済みドメイン 1* akasaya.com

[+ ドメインの追加](#)

デベロッパーの連絡先情報

メールアドレス * kasaya@appleple.com [?](#)

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

[保存](#) [変更を破棄](#)

プランディング - アプリ情報「保存」ボタンをクリック

準備ができたので、OAuth クライアントを作成します。左メニューから「クライアント」を選択、アプリケーションの種類は「ウェブ アプリケーション」を選択して、分かりやすい名前を入力し、承認済みの JavaScript 生成元にはサイトの URL を、と承認済みのリダイレクト URI には a-blog cms 側の管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>ログイン設定に表示されている Callback URL を入力して「保存」をクリックしてください。

承認済みの JavaScript 生成元 [?](#)

ブラウザからのリクエストに使用します

サイトのURL

URI 1* https://akasaya.com

[+ URI を追加](#)

管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>ログイン設定に表示されている
Callback URL

承認済みのリダイレクト URI [?](#)

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

URI 1* https://akasaya.com/callback/signin/google.html

[+ URI を追加](#)

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

[保存](#) [キャンセル](#)

認証情報 - ウェブ アプリケーションのクライアント ID

外部ユーザーにもGoogle アカウントでのログインを使用する場合には検証センターからの確認が必要になります。検証センター>確認を準備する>確認を送信するで確認を送信してください。

認証情報>OAuth 2.0 クライアント IDから作成したアプリケーション名をクリックすると、右側にクライアントIDとクライアントシークレットが表示されています。これをコピーして、a-blog cms 側の設定画面にペーストします。

The screenshot shows the 'SNSログイン' (SNS Login) configuration page. It includes the following fields:

- SNSログイン機能: A checkbox labeled 'SNSログインを利用する' (Use SNS login) is checked.
- SNSログイン使用権限: A dropdown menu set to '全ての権限' (All permissions).
- Google: A section for Google authentication with 'Client ID' and 'Secret Key' fields.
- Callback URL: https://akasaya.com/callback/signin/google.html

a-blog cms 使用しているコンフィグ>ログイン設定

ここまで進むと、ログイン／サインイン画面にはすでに Google でのログイン／サインインボタンが表示されていますが、実際のログイン／サインインには各ユーザーの認証が必要になります。各ユーザーの認証の項目に進んでください。

LINEアカウントでのログインの準備

LINEアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>プロパティ設定 にあるLINE欄に「Channel ID」と「Channel secret」の2つの情報を入力する必要があります。

プロバイダーを作成する

LINE Developers <https://account.line.biz/login/> にアクセスし、LINEアカウントあるいはビジネスアカウントでログインします。まずはプロバイダーの右側、「作成」ボタンをクリックしてプロバイダーを作成します。



LINE Developers - プロバイダーの作成ボタン

分かりやすい名前を入力して作成ボタンをクリックしてください。



LINE Developers - プロバイダーの作成モーダルウィンドウ

LINEログインチャネルを作成する

次にLINEログインチャネルを作成します。チャネル設定画面で「LINEログイン」をクリックしてください。

トップ > マニュアル用サンプル

チャネル設定 権限設定 プロバイダー設定

登録されているチャネルはありません。

チャネルを作成するには、チャネルの種類を選択します。

LINEログイン

Messaging API

LINE Developers - チャネル設定

新規チャネル作成画面に遷移します。必須項目は下表のとおりです。

サービスを提供する地域	デフォルトで「日本」が選択されています。
会社・事業者の所在国・地域	セレクトメニューから選択してください。
チャネル名	チャネルの名前（「LINE」は予約語なので含まないようにしてください。）
チャネル説明	チャネルの説明
アプリタイプ	「ウェブアプリ」にチェック
メールアドレス	メールアドレスを入力
同意チェック	「LINE開発者契約の内容に同意します」にチェック

任意の項目にも必要に応じて入力してください。「作成」ボタンをクリックしてチャネルを作成します。

チャネルが作成できたら、LINEログイン設定タブに移動し、コールバックURLに 対象となる a-blog cms のブログ URL/callback/signin/line.html を入力して更新します。



LINE Developers - LINEログイン設定

LINEログイン設定

2要素認証の必須化

ユーザーが本チャネルにログインする際に、2要素認証を要求します。

- LINEログインの2要素認証は、LINEアカウントによるパスワードです。
- 一度2要素認証でログインしたブラウザでは、1年間は信頼済み2要素認証について詳しくは、[ドキュメント](#) を参照してください。

ウェブアプリでLINEログインを利用する

コールバックURL

✓ 400行以内で入力してください
✓ 各行、1000文字以内で入力してください
✓ 各行に有効なURLを入力してください

更新 **キャンセル**

チャネルIDとチャネルシークレット

ここまでできたら、チャネル基本設定の「チャネルID」と「チャネルシークレット」をa-blog cms のSNSログインのLINEの欄にコピー & ペーストして保存します。



LINE Channel ID **LINEのチャネルIDを入力**

Channel Secret **LINEのチャネルシークレットを入力**

Callback URL : <https://akasaya.com/callback/signin/line.html>

a-blog cms 使用しているコンフィグ>ログイン設定

ここまで進むと、ログイン／サインイン画面にはすでに LINE でのログイン／サインインボタンが表示されていますが、実際のログイン／サインインには各ユーザーの認証が必要になります。各ユーザーの認証の項目に進んでください。

X アカウントでのログインの準備

Xアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>使用しているコンフィグ>プロパティ設定 にあるX(SNSログイン用)欄に「API Key」と「API Secret」の2つの情報を入力する必要があります。

この2つの情報は、独自のXアプリを作成することで入手できます。

アプリの作成手順

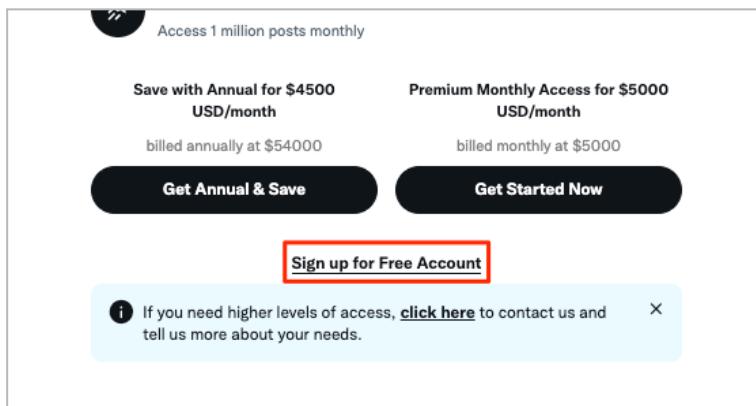
この手順は2024年11月現在のものです。X側の仕様変更がされる場合がありますのでご注意ください。

ブラウザでXにログインした状態で、<https://developer.x.com/ja> にアクセスして画面下の方の「登録」ボタンをクリックします。



X開発者プラットフォーム - トップページ画面下方

次の画面では Sign up for Free Account リンクをクリックしてください。



X Developer Portal - アカウント作成画面

Developer Agreement & Policy では、250文字以上のユースケースを入力する必要があります。405文字の例文を下記に載せておきます。

I intend to utilize the Twitter API Secret and API Key to implement a social login feature for a specific website, which is built using the a-blog cms. The primary purpose of this integration is to provide users with a convenient and secure method to access the website using their X accounts. This functionality is made possible through a module developed and maintained by the a-blog cms developer team.

Developer agreement & policy

Describe all of your use cases of Twitter's data and API:
We need this information for data protection. [Learn more](#)

I intend to utilize the Twitter API Secret and API Key to implement a social login feature for a specific website, <https://akasaya.com/>, which is built using the a-blog cms. The primary purpose of this integration is to provide users with a convenient and secure method to access the website using their X accounts. This functionality is made possible through a module developed and maintained by the a-blog cms developer team.

You understand that you may not resell anything you receive via the Twitter APIs

You understand your Developer account may be terminated if you violate the Developer Agreement or any of the Incorporated Developer Terms

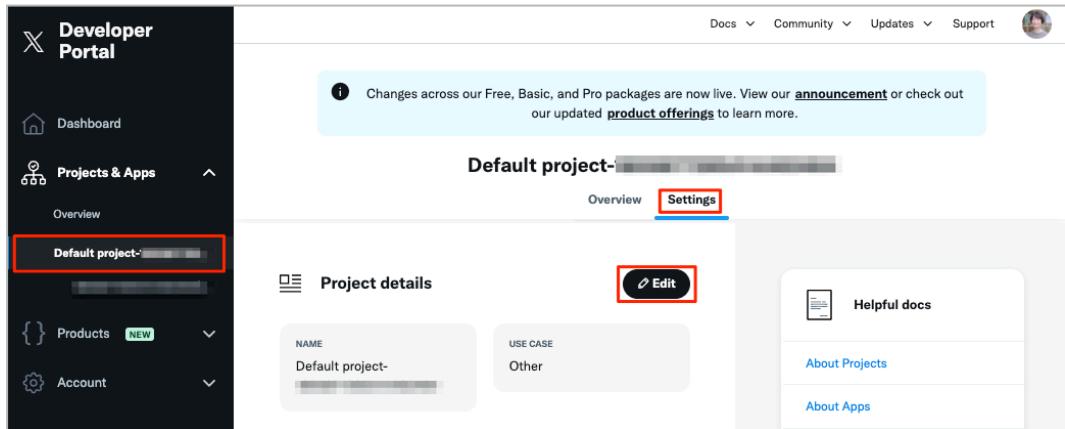
You accept the Terms & Conditions

By clicking on the box, and by otherwise accessing or using any Licensed Material, you indicate that you have read and agree to this [Developer Agreement](#) and the [Twitter Developer Policy](#)

[Back](#) [Submit](#)

X Developer Portal - Developer Agreement & Policy

フリーアカウントではプロジェクトを1件のみ登録可能なので、Default project をそのまま使います。左メニューからプロジェクト名(Default project-xxxxx)をクリックし、Settings タブをクリックし、Project Details の Edit ボタンをクリックします。



The screenshot shows the X Developer Portal interface. On the left, there's a dark sidebar with 'Developer Portal' at the top, followed by 'Dashboard', 'Projects & Apps' (which has 'Overview' and 'Default project-XXXXXX' under it), 'Products' (with a 'NEW' badge), and 'Account'. The main area is titled 'Default project-XXXXXX' with tabs for 'Overview' and 'Settings' (which is selected and highlighted with a red box). Under 'Project details', there are two boxes: one for 'NAME' containing 'Default project-XXXXXX' and another for 'USE CASE' containing 'Other'. An 'Edit' button is located to the right of these boxes. To the right of the main content, there's a sidebar with 'Helpful docs' and links to 'About Projects' and 'About Apps'.

X Developer Portal - プロジェクトの設定画面

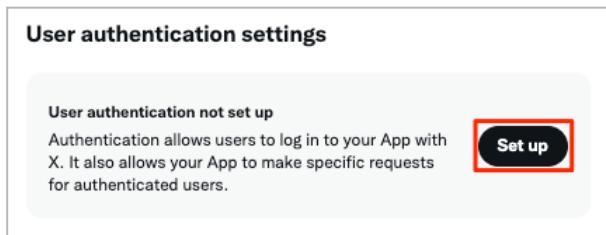
次に左メニューからProject名の下のアプリ名をクリックするか、Overviewタブに戻ってApps右横のSettings アイコンをクリックします。



The screenshot shows the 'Project Overview' page. At the top, there's a header with 'Apps' on the left and 'Manage' on the right. Below this is a search bar with a magnifying glass icon. A red box highlights the 'Manage' button.

X Developer Portal - プロジェクトOverview

次に User authentication settings の Set up ボタンをクリックしてください。



The screenshot shows the 'User authentication settings' page. It starts with a heading 'User authentication not set up'. Below that is a paragraph about user authentication: 'Authentication allows users to log in to your App with X. It also allows your App to make specific requests for authenticated users.' To the right of this text is a large 'Set up' button, which is highlighted with a red box.

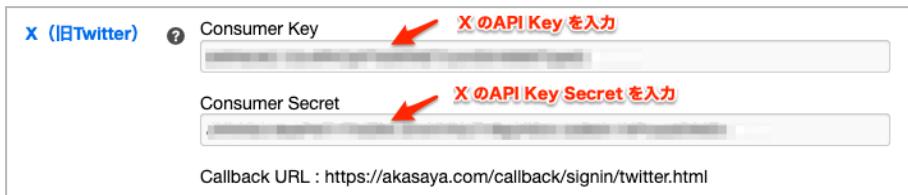
X Developer Portal - プロジェクトOverview

アプリケーションの必須項目の入力は下表のとおりにして、保存してください。

App permissions	Read and Write
Type of App	Web App, Automated App or Bot

Callback URI / Reflected URL	対象となるa-blog cmsのブログURL/callback/signin/twitter.html
Website URL	対象となるa-blog cmsのブログURL/

アプリケーションを作成し終わると、API Key と API Key Secret が表示されるので、それをコピーして、a-blog cms 側の設定画面にペーストします。



a-blog cms 使用しているコンフィグ>ログイン設定

ここまで進むと、ログイン／サインイン画面にはすでに X でのログイン／サインインボタンが表示されていますが、実際のログイン／サインインには各ユーザーの認証が必要になります。各ユーザーの認証の項目に進んでください。

各ユーザーの認証

SNSログインは、各ユーザーごとの認証が必要です。各ユーザーのアカウントでログインした後、プロフィール画面（/mypage/update-profile/ 閲覧側の画面の管理ボックスから遷移可能）で認証を行ってください。

メールマガジン
 メールマガジンを受け取る

保存

Google認証
LINE認証
X (旧Twitter) 認証

プロフィール画面 - 認証前

メールマガジン
 メールマガジンを受け取る

保存

Google認証
LINE認証
X (旧Twitter) 認証

プロフィール画面 - 認証後

これで、SNSログインが可能になりました。ログイン画面、サインイン画面から機能をご確認ください。

カート機能

カート機能

a-blog cms には簡易的なカート機能が用意されています。

商品を購入(カートに投入)して送料の計算などを行う基本的なカートとしての使い方や、購入を伴わず選択した複数の商品(データ)情報を管理者に送信する、といった使い方ができます。

主な機能

a-blog cms のカート機能は、以下の通りです。

この機能の利用は管理ページ>カート から設定できます。

- 商品情報の登録・表示
- 在庫管理機能の有効化
- 税金設定(税率、内税・外税)
- 決済と配送の設定(方法と手数料)
- 配送オプション(配送希望日時とオプション)
- 送料の設定

各項目には[?]マークでヘルプを設けていますので、内容はこちらを参照ください。

ご利用の前に

カート機能の利用にはテーマのカスタマイズとフォームIDの作成が必須となります。

これらの作成につきましては、サイト制作者、カスタマイズ担当者にご相談ください。

Ver. 1.x との違い

Ver. 1.x の有料オプションとして提供されておりましたユーザー管理、販売管理の機能は用意されておりません。

レイアウト機能

レイアウト機能とは

a-blog cms では、表示されているページのコンテンツやレイアウトをブラウザ上から追加・変更できるレイアウト機能があります。

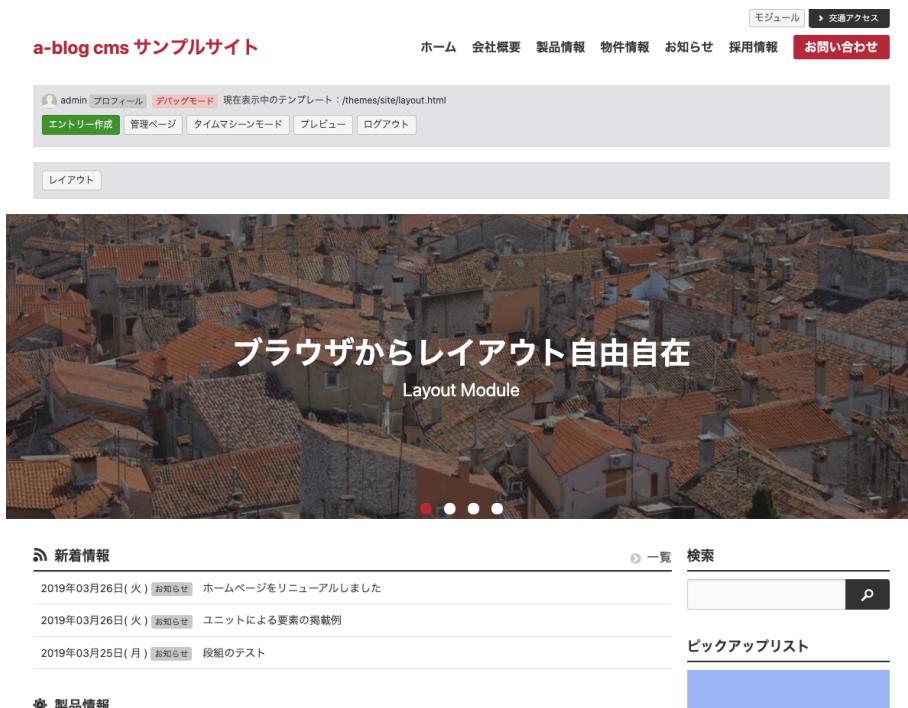
レイアウト機能を使うことで、これまでテンプレート(HTMLファイル)への変更が必要だったレイアウトの変更やモジュールの追加が、ブラウザからの操作のみで行えるようになります。

この機能は、a-blog cms に同梱されているテーマ「Site」で利用できます。Siteでの利用を元に説明を進めますが、独自に作成したテーマをご利用の場合には別途テンプレートファイルに変更が必要です。レイアウト機能の使用については、a-blog cmsのテンプレートを作成された方にご相談ください。

レイアウトの利用開始

Siteテーマのa-blog cmsに管理者としてログイン後、<https://ドメイン/layout.html>にアクセスし、ページ上部に表示されている「レイアウト」ボタンでレイアウト機能の利用を開始します。

レイアウト機能が起動すると、ページ内の各コンテンツがレイアウト(灰色の囲み)とモジュール(青色の囲み)で区切られた表示に切り替わり、画面左上にレイアウト機能の操作パネルが表示されます。



レイアウト機能起動前



レイアウト機能起動後

レイアウト機能を起動した状態では、画面内の各コンテンツがレイアウト枠とモジュール枠で区切られているのがわかります。

レイアウト、モジュールの追加・配置・変更

レイアウト機能では、ページ内でのカラム数などを制御する「レイアウト」と、登録されている情報（エントリなど）をどのように表示するかを制御する「モジュール」のそれぞれを自由に追加・配置・変更できます。

レイアウト機能によるレイアウト、モジュールの追加手順は以下の3ステップとなります。

1. レイアウトの配置
2. モジュールの配置と設定
3. 保存

1.レイアウトの配置

レイアウト枠の項目はカスタマイズの内容により変わりますが、Siteテーマでは、1カラム、2カラム、3カラム、パーツの4カテゴリから配置したいレイアウト枠を選択してドラッグ & ドロップでページ上に配置します。

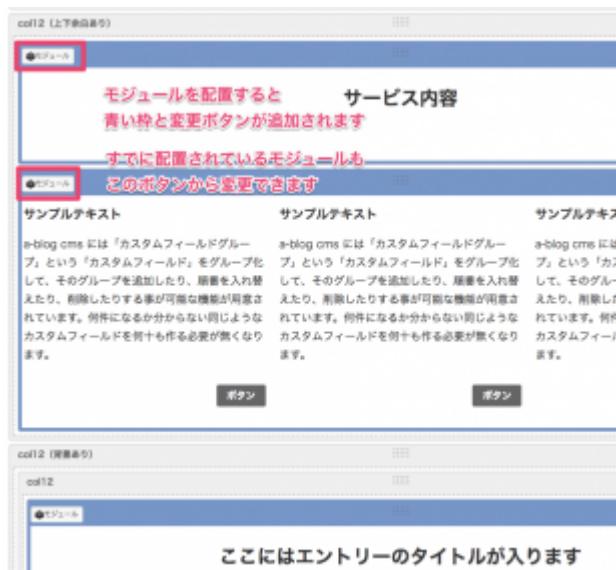


レイアウトの配置メニュー

2.モジュールの配置と設定

モジュールについても同様に、ページ内に配置したレイアウト枠にモジュールをドラッグ & ドロップでレイアウト枠内に配置します。

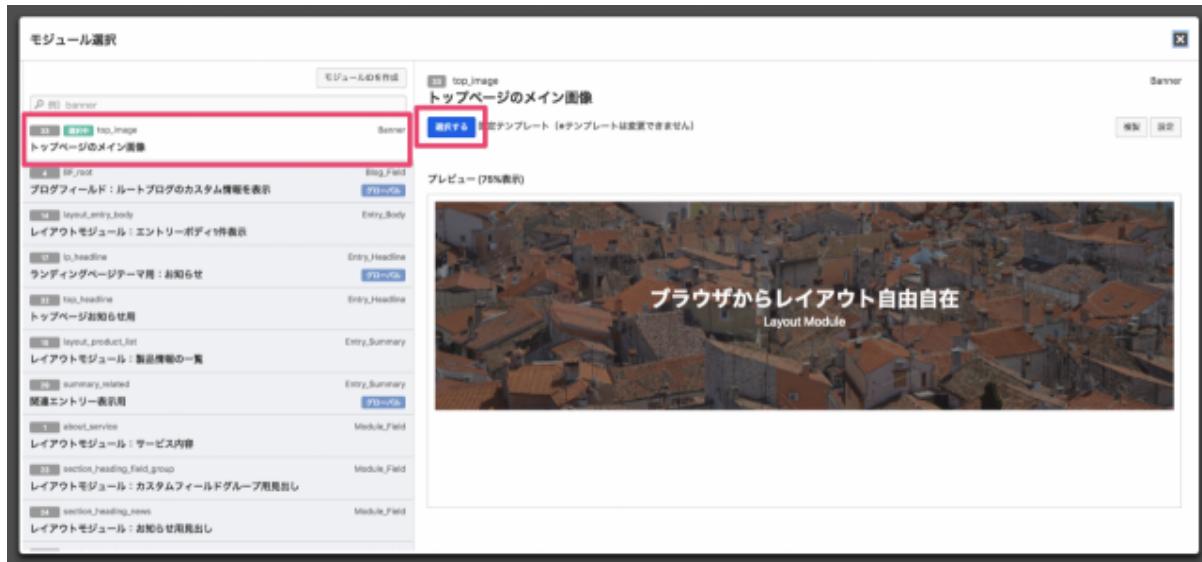
配置後にどのモジュールを表示するかをモジュール変更ボタンから選択します。



モジュール変更ボタン

モジュール変更ボタンからは、これまでに設定されているモジュールIDを選択できます。表示したい内容のモジュールIDを左端の「選択」ボタンで選択します。

このモジュール一覧で選択したモジュールIDが、先ほどのレイアウト枠内に表示されます。これらのモジュールIDについては、レイアウト機能とは別に管理画面からも設定・編集もできます。



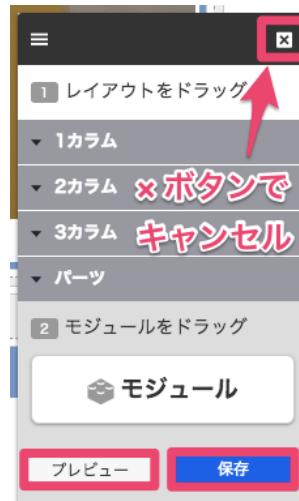
モジュール選択画面

3.保存

レイアウトやモジュールは、ドラッグ & ドロップによる追加後も、再度ドラッグ & ドロップすることで自由に再配置できます。

1.と2.の作業を必要に合わせて繰り返し、最終的にレイアウト機能の操作パネルの「保存」ボタンで追加・変更した内容を確定します。実際に保存する前には、レイアウト機能の操作パネルの「プレビュー」ボタンからPC、スマートフォンのそれぞれの変更後の状態を確認できます。

誤ってレイアウトやモジュールを削除してしまった、最初からやり直したい、という場合にはレイアウト機能の操作パネルの右上「X」ボタンでこれまでの変更内容を破棄できます。



変更内容の破棄

a-blog cms サンプルサイト

ホーム 会社概要 製品情報 物件情報 お知らせ 採用情報 お問い合わせ

ブラウザからレイアウト自由自在
Layout Module

新着情報

- 2019年03月26日(火) お知らせ ホームページをリニューアルしました
- 2019年03月26日(火) お知らせ ユニットによる要素の掲載例
- 2019年03月25日(月) お知らせ 段組のテスト

検索

ピックアップリスト

業務用製品G
業務用製品D
家庭用製品F

新着情報

2019年03月26日(火) お知らせ ホームページをリニューアルしました

プレビューでは、PC・スマートフォンのそれぞれの変更後の状態を確認できる